

あわつと感染症情報(2026-17)

★今週のトピックス★

管内でつつが虫病患者の発生届がありました！

つつが虫病は、つつが虫病原体を保有するツツガムシに刺されることで発症するダニ媒介感染症です。刺されると5～14日程の潜伏期間を経て発症します。主な特徴としては、発熱、発疹、刺し口にできる痂皮です。これらの症状(高熱、発疹、刺し口)は日本紅斑熱とよく似ていますので、区別が難しい場合があります。全国的に発生している感染症ですが、千葉県での発生時期は秋から春にかけて患者が発生しています。治療としてはテトラサイクリン系の抗菌薬が有効ですが、治療が遅れると重症化することがあります。



<関連記事>

「県内における猫の重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の症例確認について」

県内で初めて、猫のSFTSの症例が確認されました。SFTSは、主にSFTSウイルスを保有するマダニに刺されることで、人や動物が感染する病気です。SFTSを発症している動物との接触により人が感染することもありますので、犬や猫などのペットを飼っている方は、ペットがマダニに刺されないように、また、ペットから人に感染しないようにご注意ください。

(参考) <https://www.pref.chiba.lg.jp/eishi/press/2026/r080423-n.html>



SFTS

SFTSは、ウイルスを保有するマダニに刺されることで感染します。また、ウイルスに感染した犬や猫に咬まれたり、血液などの体液に直接触れることで感染することも報告されています。

現在、マダニの活動が活発な時期ですので、山や草むらに入る際は、虫よけの使用や長袖・長ズボンなどの肌の露出が少ない服装、帰宅後はシャワーや着替えををするといった対策を心がけましょう。

！ つつが虫病、SFTSは、4類感染症です。
診断した医師は、直ちに最寄りの保健所に発生届を提出する必要があります。

- <参考> ・つつが虫病について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173061.html>
・つつが虫病(国立健康危機管理研究機構) <https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ta/Scrub-Typhus/010/tsutsugamushi.html>
・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>
・ダニ媒介感染症啓発ツール(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>
・重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 診療の手引き 2024年版(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001229138.pdf>

★安房管内の感染症発生状況★

★安房管内における2026年第17週(令和8年4月20日～令和8年4月26日)

新型コロナウイルス感染症

安房

県内

定点医療機関当たりの報告数は0.17人と前週0.33人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は1.08人と前週0.78人と比べ、増加)

<参考>・新型コロナウイルス感染症について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

インフルエンザ

安房

県内

定点医療機関当たりの報告数は0.00人と前週0.00人と比べ、変化はありません。

(県全体の報告数は0.44人と前週0.68人と比べ、減少)

<参考>インフルエンザから身を守ろう(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>
インフルエンザ注意報の発令について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2025/infulu1029.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

安房

県内

定点医療機関当たりの報告数は2.25人と前週2.50人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は3.39人と前週2.70人と比べ、増加)

<参考>・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-17.html>

感染性胃腸炎

安房

県内

定点医療機関当たりの報告数は0.50人と前週0.00人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は3.63人と前週3.07人と比べ、増加)

<参考>・感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>

❀ 安房管内の全数届出疾患 ❀

全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、最寄りの保健所に届け出る必要があります。

<2類感染症> 結核 2件

結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。

結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。

<参考>・結核情報(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kekkaku/index.html>
・結核(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html

<4類感染症> つつが虫病 1件

つつが虫病は、つつが虫病原体を保有するツツガムシに刺されることで発症するダニ媒介感染症です。刺されると5～14日程の潜伏期間を経て発症します。主な症状は、発熱、発疹、刺し口にできる痂皮です。

<参考>・つつが虫病について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173061.html>

【配信元】

千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)
あわつと感染症情報
awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp